

「マルチインパクト仮説」^{2014 U06-P24}によりAbductionで進化を利用して
全ての起源を検証する

--海洋,大陸(パンゲア),プレートテクトニクスと駆動力,月,小惑星帯,木星大
赤斑--

We verify all origins using evolution in Abduction by "Multi Impact
Hypothesis"^{2014 U06-P24}

- Ocean, Continent (Pangea), Plate Tectonics and Driving Force,
Moon, Asteroid Belt, Jupiter Great Red Spot -

*種子 彰¹

*Akira Taneko¹

1. SEED SCIENCE Lab.

1. SEED SCIENCE Lab.

SCIENCEは宇宙の謎を説明する事を目的としており、「それは如何に」と「それは何故」での質問で発展して
きた。最初は如何にで知識を拡大し、何故でその根拠を求めて本質に迫る。

海洋底の研究も、最初は地理や深さや海流や気候、更には海底地質や地震伝搬や発生機構など、

更には海底火山や隆起浸食や発達史やプレートの移動やその原因など子生物の化石や残留磁化など広いので
測定には事欠かない。近年は、プレートテクトニクスや駆動メカニズムなどグローバルな仕事である。

さて、「何故」の仕事は、分析や総合では始まらないのでは? 今回、ウェゲナー氏が百年前に提案した大陸
移動説と、その時に移動前に仮定した超大陸「パンゲア」とその周りの超海洋(表面積の七割)が取り囲んで
いた。しかも、その海は平均深さ5kmであり、地球半径は既に約6400kmも知られており、此の高度の頻度曲
線が二山である事まで指摘されていた。この地球の1/1000の剥離(ピーリング)の謎も同時に指摘されてい
た。今までも私以外は、この海洋底起源の謎を無視していました。

A. «マルチインパクト仮説^{(1)2014 U06-P24}» (CERRAtが木星摂動で軌道偏芯、木星の潮汐力で断裂したマン
トル断裂片が間欠順次衝突)では,CERRAのマントル断裂片が一列で楕円軌道となり、地球軌道との交叉位置で時
間差衝突するメカニズムが示せる。

(1)月の起源の謎⇒最初の月サイズのマントル衝突時に月が $60 \times R_e$ の軌道に射出される。($R_e \approx 6400$ km地球
半径)

(2)マントルだけの月の謎: トレーンマントル断裂片の地球衝突⇒ニュートンの揺り籠として、マントルだけ
の月射出(第二次宇宙速度/反発係数考慮)

(3)月軌道の謎 : CERRAのマントル断裂片が地球軌道との交点で相対速度⇒12.4km/sと角度36.5度で射出軌
道エネルギー $60 \times R_e$ 軌道。

(4)月が常に地球に表面だけを向ける謎 ⇒マントル剥離による月の偏心が、共通重心の周りを公転しながら重
い側が中心を常に向く。

B. «地球の(謎)特徴»

(5)地球の表面積7割を占める平均深さ4.5kmの海洋底の剥離の謎⇒トレーンマントル小惑星の衝突剥離とア
イソスタシー平衡深度5 km,(ex.地球半径6400km)

(6)約10枚のプレートに分かれて相互に移動する謎⇒衝突時に地球のマントルに亀裂が入り、プレートの境界
となる。

(7)プレートテクトニクスの起源の謎⇒何故それが起きたのか? 地殻剥離⇒海凸プレート

(8)プレート駆動力の謎⇒地球の慣性モーメント偏芯⇒地球自転により偶力発生⇒プレート駆動力

(9)環太平洋弧状列島と背弧海盆の謎⇒周囲のプレート凹み⇒環太平洋弧状列島と背弧凹海盆の起源

(10)凹プレートと凸プレートの押し合い⇒プレートとプレートが相互に重なり初める事の起源⇒バランス取れたら移動終焉

C. <その他の太陽系の(謎)特徴>

(11)木星大赤斑の謎⇒マントル断裂片の木星衝突⇒木熱貫流量の減少⇒ソリトンで大赤斑の起源

(12)水星が他の地球型惑星のコア/マントル比が約2倍の謎⇒C E R R Aの断裂片+コア⇒速度低下⇒内側軌道へ⇒水星の起源

(13)小惑星帯の起源の謎⇒C E R R A断裂時のトレーン小惑星以外⇒C E R R A軌道エネルギーが一山分布.

太陽系の起源の解明には、物理的に意味のある仮説「マルチインパクト仮説」を立てる.

一度限りの進化の結果を利用して、複数の現状の特徴(謎)を統一的に全て説明できる事で、アブダクションで検証できた.

世界で一番小さな個人科学研究所 SEED SCIENCE Labo. 探究対象は世界一広, 過去も, [太陽系と月と地球の起源, 宇宙は膨張しないetc]

キーワード: アブダクションとマルチインパクト仮説、海洋の起源、大陸(パンゲア)の起源、プレートテクトニクスの起源と駆動力、月と小惑星帯と木星大赤斑の起源、駆動力:地球のプレート分布による慣性モーメントの偏芯最小化、環太平洋弧状列島と背弧凹海盆の起源

Keywords: Abduction and Multi Impact Hypothesis, Origin of Ocean floor, Origin of Continent (Pangea), Origin of Plate Tectonics and Driving Force, Origin of the Moon and Asteroid belt and Jupiter's great red spot, Driving Force:Minimization of Eccentricity of Moment of Inertia by Plate Distribution of Earth, Origin of Pacific Arc and Back Arc Recessed Basin

